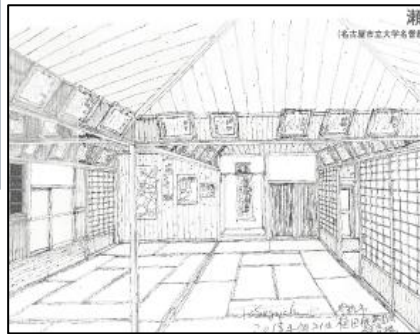


瀬口哲夫 名古屋市立大学 名誉教授が案内する

「建築物から探る豊橋の近現代」

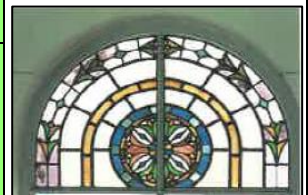


写真は、豊橋市発行「がんばろうね・豊橋が輝くとき」より
スケッチは瀬口教授



明治期からの豊橋は、「蚕都・豊橋」「軍都・豊橋」と呼ばれていました。かつて信州・上州と並んで蚕都の名前を馳せていた豊橋、その遺構を見ることは難しくなりました。また、その一方で歩兵第18連隊、第15師団が豊橋に配置され、軍隊のまちとして都市の基盤整備が進みました。今でも軍都を忍ばせる遺構がわずかに残っています。今回この講座では、近現代の都市生活を支えた建築物の魅力を確認し、建築物を活かしたまちづくりの発想をふくらませていくもので、現地での見学も織り込まれたミナクルスペシャル企画です。豊橋技術科学大学から名古屋市立大学に進んだ豊橋ゆかりの講師”瀬口哲夫氏”は、歴史的遺産や自然環境を生かしたまちづくりを常に提唱しています。さて、どんな豊橋を語るのでしょうか、楽しみです。

回	日	曜・時間	内容	講師(敬称略)
1	5/18	土曜日 14:00~ 15:30	軍都とよはしの頃の遺構・建築物 第15師団司令部・長官舎 歩兵第18連隊営門歩哨舎等	瀬口 哲夫 名古屋市立大学 名誉教授
2	5/25		蚕都とよはしの頃の遺構・建築物 稚蚕共同飼育場 豊橋市民俗資料館収蔵室	
3	6/01	土曜日 13:30~ 16:00(予定)	都市生活を支えた建築物 小鷹野上水道ポンプ場、中京銀行、 公会堂、ハリストス正教会	工学博士 都市計画・建築計画 街並みデザイン 専攻
4	6/08		軍都・蚕都、そして都市生活を支えた今 に残る建築物探訪(現地見学)	



定員:40人 会場:ミナクル 南稜地区市民館 豊橋市HP 21358
申込:4月21日(日)までにミナクル南稜地区市民館 ☎0532-26-0010 まで 応募多数の場合抽選